

## 令和4年9月市議会定例会 提案理由説明

本日ここに、令和4年9月越前市議会定例会が開会され、提案いたしました9月補正予算案をはじめ、各種案件のご審議を賜りたく、市政の諸課題についてご説明申し上げます。

### 【豪雨】

まず、先般の大雨により被害に遭われた市民の皆さま、また、大規模な災害に見舞われた南越前町町民の皆様に対し、お見舞いを申し上げますとともに、一日も早く日常生活を取り戻されることを心よりお祈りいたします。

本市では、7月9日に市東部において1時間に109mmの猛烈な雨量を観測したほか、8月5日には、日野川の水位上昇や大塩谷川の越水などにより、流域の11町内約1700世帯の住民を対象に避難指示を3回に分けて発令いたしました。

いずれの大雨においても、住家の床下浸水や道路の冠水、山からの土砂流出などの被害が発生しております。

そこで、国・県に対して、日野川及び大塩谷川の堤防嵩上げの早期事業化を重要要望に追加しました。併せて、早急な対応が必要となる被害箇所について、今議会中の追加予算計上を検討しています。

近年では、毎年のように全国各地で自然災害が頻発し、甚大な被害を受けていることから、いつどこで発生するかわからない災害に備えて、市民の皆さまとともに、誰もが安心して暮らせるふるさとづくりを進めてまいります。

## 【新型コロナウイルス感染症】

続いて、新型コロナウイルス感染症について申し上げます。

第7波の感染急拡大により、全ての年代において感染が広がり、本市では8月1日から8月30日までに、4,507人の新規感染者が報告されております。

未だ感染拡大が落ち着く状況にはなく、県の感染拡大警報も9月30日まで発令されています。引き続き県と連携しながら、感染防止対策の徹底を呼び掛けてまいります。

ワクチンの追加接種については、未接種者への個別通知など早期接種に向けた働きかけを行っているところですが、県内他市町と比較しても、接種が十分に進んでいない状況です。今後予定されているオミクロン株に対応したワクチンとあわせ、接種の促進に取り組んでまいります。

## 【原油・原材料高騰対策】

続いて原油・原材料高騰対策について申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響が未だ残るなか、さらなる追い討ちをかけるように不安定な世界情勢により原油・原材料の価格が高騰しています。市内の幅広い業種に影響が出ているため、国の補助金も活用しながら、速やかに対策を講じてまいります。

6月に市及び武生商工会議所、越前市商工会で実施した調査によりますと、仕入価格の上昇分を十分に価格転嫁できず、全体の55%の企業で利益が減少していることが明らかになりました。8月25日には、武生商工会議所及び越前市商工会から、円安・原油・原材料高騰に対する施策や、

新型コロナウイルスに対応した消費拡大策などについて要望をいただきました。

そこで、前年と比較して大きく利益が減少した事業所に対する支援として、1事業者あたり10万円を上限とする支援に係る所要額1億2,600万円を9月補正予算案に計上いたしました。

農業においては、米価の大幅下落に加えて、燃油や肥料等が高騰し続ける中、夏から秋にかけての農作業に必要な燃油及び肥料、畜産農家の配合飼料の高騰分を、春先の対応としての6月補正予算に引き続き支援いたします。このため燃油・肥料高騰緊急対策事業として所要額5,897万円を9月補正予算案に計上いたしました。

保育園給食につきましては、原油価格・物価高騰により、昨年度よりも負担増が懸念される中で、給食の質を保つため、市内の私立園における昨年度と比較した負担増額相当について、7月分から支援する所要額を9月補正予算案に計上いたしました。

### 【市総合計画の改定】

続いて、市総合計画の改定について申し上げます。

今回の改定では、地域ミーティングやふるさとミーティング、市民意識調査、ワークショップなどを通して、市民の皆さんが抱える課題をお聞きし、その課題解決のための政策を積み上げてまいりたいと考えております。

基本構想では、2040年に向けての将来像として、次のようにイメージしています。

・関係人口、交流人口の増大などによる「人口8万人の活力と元気」の

維持、拡大した姿

- ・ 0才児から100才を超える高齢者までの「生涯ウェルビーイング（100年幸福実感）」の実現

- ・ 新たな感染症や自然災害の頻発化・激甚化などに対応できる「強靱なふるさと」

この将来像を実現するための政策を基本計画とし、未来へとつなげるふるさとづくりを進めてまいります。

なお、市観光振興プランや市都市計画マスタープランなどの個別分野の計画につきましても、市総合計画との整合性を図りながら、策定作業を進めてまいります。

### **【中期財政計画】**

本市の財政見通しにつきましては、予測困難な社会情勢ではありますが、令和3年度決算と令和4年度決算見込みを踏まえ、5年間の「中期財政計画」を改定しました。

本計画は、本年7月時点で予測可能な5年間の財政指標等の推移を試算しており、今後の予算編成などに活用するものであります。

財政の健全化と安定化を一層図るため、将来を見据えた確実な財政基盤を構築するという考え方を基本に、市政を推進してまいります。

### **【地域ブランディング・紫式部プロジェクト】**

続いて地域ブランディングについて、申し上げます。

地域にある宝を見つけて、住んでいる人がこれを誇りとし、外に向けて発信することが、この越前市の活力を生み出すことになると考えています。

こうした観点から、ふるさと Echizen 発掘プロジェクトとして、市民一人ひとりの思う地域の宝の再発見に取り組んでいただいているところです。また、本市を知っていただき、UIJターンや企業誘致などに結びつけるため、その魅力や特徴をまとめたブランドハンドブックを制作することとし、所要額を9月補正予算案に計上いたしました。

紫式部プロジェクトについて、まずは市民の機運醸成が重要と考えています。9月17日には市内衣料品メーカーとの共催により開催予定のファッションショーで、武生商工高校生とコラボして制作される紫式部をイメージした洋服が披露される予定です。10月には、紫式部公園をイルミネーションで装飾し、雅楽によるコンサートなど平安文化漂う「えちぜん紫式部まつり」を開催いたします。

また、来年度からのプロモーションに使用するロゴの制作や、受入環境整備として紫式部公園にふさわしい修景を行うこととし、その必要額を9月補正予算案に計上いたしました。

来年度以降の取組みについては、UIJターン、関係人口、交流人口の拡大や、国府があった可能性のあるまちなか寺院等における具体的な場所の特定に迫る発掘調査などを、国、県と相談しながら検討を進めているところです。文化団体や経済団体などで構成する準備組織を立ち上げ、各種団体と連携しながら、新幹線開業と大河ドラマ放映と連動させるべく、プロジェクトを推進してまいります。

#### **【北陸新幹線駅周辺整備】**

続いて、北陸新幹線駅周辺整備について申し上げます。

越前たけふ駅周辺の企業誘致につきましては、現在進めている研究開発施設等の誘致を実現するため、2回目の地権者説明会を6月下旬に開催して以降、土地改良区やまちづくり協議会の役員会で、当事業に対しての御意見をいただきながら、パートナー企業とともに進めています。

現在、具体的な交渉条件等について、地元役員をはじめ、関係者間で協議しているところです。

また、研究施設やホテル、商業施設など、様々な企業、事業者に対して私や副市長が、これまでに延べ26社に対し、トップセールスを行ったところであり、更にその誘致活動を強化してまいります。

次世代交流拠点につきましては、「次世代交流拠点整備に関する研究会」をこの秋にもスタートさせ、来年度に構想を策定するため、その準備に着手したいと考えております。市民や研究者等が集うオープンスペースや、カンファレンスホール、子ども向け施設、伝統産業を含むモノづくりの発信拠点などの機能を持たせ、さらには商業施設と一体的な整備を行う方向で検討しています。

コロナ禍や原油・原材料高騰が続き、新規投資を伴う企業の誘致は厳しい状況下にあります。引き続き、地元や地権者の皆様のご意見をいただきながら、越前たけふ駅周辺の整備を進めてまいりたいと考えております。

### **【観光誘客・グリーンツーリズム】**

続いて、観光誘客について申し上げます。

北陸新幹線県内開業に向けて、「越前」の認知度を特に首都圏を中心に高める活動が重要と考えています。このため7月に、在京のトップシェフや

食に関心の高い層への越前打刃物のPR・販売、国内外のクリエイターやデザイナーと本市のモノづくりに携わる方々との交流イベントを7月に実施しました。

また、インバウンドの誘客を図るため、海外富裕層向けの旅行会社に本市を視察いただき、おもてなしの意識や宿泊施設における受入環境などに改善点等のご指摘をいただきました。観光資源やツアー内容のブラッシュアップにつなげてまいります。

第71回たけふ菊人形は、10月7日から11月6日までの31日間開催します。

本年は、「桃太郎」や「赤ずきん」といったおとぎ話の世界を表現する菊人形や、愛好家による菊花陳列、創立100周年を迎えたOSK日本歌劇団の公演、新しい大型遊具の稼働など、魅力満載で開催してまいります。市民の皆さまはもとより、多くの方にお越しいただくよう、県内外にたけふ菊人形を広く発信してまいります。

グリーンツーリズムについては、コウノトリとともに育まれた自然環境や、食、農業などの様々な体験を、しきぶ温泉湯楽里を発信起点として強化いたします。国の制度も活用し、温泉活用に関する知識や経験を有する方を招き入れ、魅力の掘り起こしや農泊モデルの構築などに係る所要額を9月補正予算案に計上いたしました。

## 【産業振興】

続いて、産業振興について申し上げます。

矢船町に所在する魚市場が7月31日をもって廃止されることになり、

市内の飲食店や小売店が鮮魚等を仕入れられなくなる懸念が生じました。

こうしたことに対応するため、市内の魚屋や小料理屋などで構成する2つの魚商組合が出資し、8月1日に鮮魚の仕入れを行う合同会社越前たけふ水産を立ち上げました。

本市としては、市民の皆さまに鮮魚を提供する流通体制の確保は、市民生活や観光誘客において極めて重要と考え、新たな鮮魚卸売市場の初期投資に対する支援を行うこととしました。同様の支援を県にも要望しているところであり、必要な所要額を9月補正予算案に計上いたしました。

企業のDXの推進については、デジタル技術のビジネスにおける活用例の紹介や、最先端機器の体験ができる「TAKEFU D-LAB（タケフディーラボ）」が9月6日、武生商工会議所1階にオープンします。人材育成や資金的支援とあわせて、オンライン相談窓口の設置や展示施設の整備など、導入支援体制の強化に取り組んでまいります。

「千年未来工藝祭2022」は8月27日・28日の2日間にかけて開催され、隣接して音楽フェスティバルも行われ、1万人を超える来場者がありました。工藝の魅力を身近に感じることでできるクラフトイベントとして定着してきており、レベルの高さを実感したところです。

全国に本市の工芸、手仕事の魅力を発信し、より多くの方々にこの地にお越しいただけるようにしたいと考えております。

また、「越前モノづくりフェスタ2022」が、9月10日、11日の2日間にかけて開催されます。世界に誇る本市の産業を多くの方に知っていただくとともに、体験コーナーなどを通じて、次世代を担う子どもたちの

モノづくりの心、ふるさとへの愛着を育むことを期待いたします。

### **【公共交通】**

続いて、公共交通に関する取組みについて申し上げます。

鉄道及び路線バスにつきましては、コロナ禍による運賃収入の減少や原油価格の高騰により、経営に大きな影響が生じている事業者に対し、県や沿線市町と連携した運行継続への支援として所要額を9月補正予算案に計上いたしました。

また、福井鉄道福武線については、運行継続に関する支援に加えて、鉄道の利用促進を図るため、地域鉄道おでかけ応援事業として、フリー切符の割引分を県と沿線3市が協力して支援することとし、所要額を9月補正予算案に計上いたしました。

また、これまで福祉車両を活用し、地域における移動手段の確保に向け取り組んできた坂口地区において、当該地域の住民が主体となったデマンド交通導入の実証実験を行うことといたしました。

実証実験に用いる自家用車の運転に必要な講習受講にかかる所要額を9月補正予算案に計上いたしました。

郊外で暮らす高齢者などからは、買い物や通院など移動手段が少なく不便を感じているとの声が多いことから、この実証実験が新たな地域交通のモデルの一つとなって、他の地域にも取組みが広がるよう検討してまいります。

### **【子育て・高齢者福祉】**

続いて、子育て支援について申し上げます。

子育てへの支援については、子ども・子育て会議において、一時的、限定的な手当てなどの現金支給よりも、全ての子育て世帯に対する切れ目ない支援へのニーズが高いとのご意見をいただきました。

このことを踏まえ、現在、小学校入学前までとしている子ども医療費の無料対象者を、令和5年4月から高校生まで拡大し、子ども医療費の完全無料化を行うこととしました。その準備経費として所要額を9月補正予算案に計上いたしました。

市児童発達支援センター「なないろ」では、増加傾向にある「発達が気かりな子ども達」の継続的な支援体制を強化することとし、計画相談支援と療育の一部を民間委託するとともに、未就学児までとしている療育の対象範囲を、高校生まで拡大します。そのために必要となる施設の改修工事に係る所要額と、委託に係る4年分の債務負担行為1億260万円を9月補正予算案に追加いたしました。

高齢者福祉については、コロナ禍により活動が制約される状態が長く続くことにより、体力や気力が減退し、フレイルや認知症が増加することが懸念されます。あいぱーく今立やシピィで開催している一般介護予防教室を「元気カフェ」と位置づけ、転倒予防や認知症予防の相談会を開催するなど、高齢者やその家族の気軽な交流の場として定着を図ってまいります。

すべての世代の方が、健やかに暮らすことのできる越前市を目指してまいります。

## **【教育の振興】**

続いて、教育の振興について申し上げます。

少子化の進行により児童・生徒の数が減っていく中で、スポーツや文化に関する活動が、学校の部活動だけでは十分に行えなくなっている状況が見られます。そのため、スポーツや文化・芸術活動を行う地域の団体等で構成される「越前市の子どもたちの新たな活動環境に関わる検討委員会」を設置いたします。モデル的にスポーツ・文化・芸術活動の選定を行い、来年度から休日に生徒が地域で活動できるような新たな環境整備につなげていきたいと考えております。

### **【地域との協働】**

次に、地域との協働について申し上げます。

「2022地域ミーティング」は、各地区自治振興会のご協力のもと、5月から8月にかけて、8会場で開催し、延べ328人の参加をいただきました。

ミーティングでは、「地域と行政との協働によるまちづくりの推進」をテーマに、各地区自治振興会の取組みや今後の展望などについて、皆さまから発表をいただきました。

発表や意見交換を通じ、皆さまの地域への熱い思いや様々な事業に取り組まれる姿を改めて知ることができたと同時に、地域の課題についても認識を新たにいたしました。

今後も、市自治連合会や各地区自治振興会と連携し、市民の皆さまとの協働によるまちづくりを推進してまいります。

### **【人権の尊重】**

人権に関しては、人は誰でも、ある面ではマイノリティであるとの認識

の下、どこに住んでいても、どんな境遇にあっても、誰一人取り残されることなく、幸せに暮らせるふるさとづくりを進めたいと考えております。こうした観点から、「パートナーシップ宣誓制度」を10月に導入し、市営住宅入居などの行政サービスが受けられるよう配慮していきたいと考えております。これを契機に人権尊重とパートナーシップ制度の啓発のための所要額を9月補正予算案に計上いたしました。

### 【自治体DX】

最後に、自治体DXの推進に関する取組みについて申し上げます。

本市における自治体DXの総合的な推進と全庁的な体制構築を図るため、6月20日にDX推進本部を設置し、外部有識者2人をアドバイザーに委嘱しました。

自治体のDXについては、組織全体の生産性を高め、さらなる市民サービスの向上につなげるため、デジタル業務基盤整備の事前準備に係る所要額と、利用に係る5年分の債務負担行為額2億1,615万円を9月補正予算案で増額いたしました。

マイナンバーカードにつきましては、本市の7月末日現在の申請率は54.19%で、県及び全国の平均は上回っているものの、まだ普及が十分とは言えない状況です。カードの普及促進のため、ラッピングカーを用いた出張申請サポートなどに係る所要額を9月補正予算案に計上いたしました。

また、マイナンバーカードを利用したコンビニエンスストア等での証明

書等の交付手数料について、本年12月1日から令和7年3月31日まで、  
現行の手数料から150円減額することとします。このための手数料条例  
を改正し、マイナンバーカードの普及による市民サービスの向上及び行政  
の効率化を図ってまいります。

### 【結びに】

以上、当面する市政の諸課題及び予算案の概要について述べさせていただきました。

何とぞ、議員各位並びに市民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願  
い申し上げます。

なお、議案第41号から議案第56号までの提案理由については関係部  
長よりご説明申し上げます。